

# 国立市立国立第四小学校 令和6年度 第4学年 授業改善プラン

教科	観点	課題	具体的な手立て・改善策
国語	① 知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日常的に書いている文章やテストの結果から、漢字の定着が十分ではない児童が2割程度いる。(①)</li> <li>・発表や話合いのときに、話す内容や順序を考えてから話すようにしていない児童が2割程度いる。(②)</li> <li>・友達の意見を聞いている児童は9割程度いるが、自分の意見を持ち、伝えることができない児童が2割程度いる。(③)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・10問テストや50問テストを定期的に行い、繰り返し練習をする時間を確保し、習熟度を高めさせる。</li> <li>・国語以外の教科でも話し合う機会を計画的に取り入れ、相手や目的に応じて、理由や事例などを順序立てて話せるように指導する。</li> <li>・全体での発表の場だけでなく、グループでの話合い活動を通して、自分の意見を伝える機会を増やす。</li> </ul>
	② 思考・判断・表現		
	③ 主体的に学習に取り組む態度		
社会	① 知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・都道府県の位置や名称を正しく理解できていない児童が2割程度いる。(①)</li> <li>・図やグラフを読み取れない児童が3割程度いる。(②)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ICT端末を使ったクイズ問題に取り組みせたり都道府県テストを繰り返し行ったりし、位置や名称、特徴を定着させる。</li> <li>・資料の読み取り方を全体で確認する。新聞やパンフレット作りなど、まとめの学習でその資料を活用させる。</li> </ul>
	② 思考・判断・表現		
	③ 主体的に学習に取り組む態度		
算数	① 知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・わり算の筆算の技能が十分でない児童が2割程度いる。(①)</li> <li>・分度器を正しく使えず、180度を超える大きさの角を読み取ることや、作図をすることができない児童が3割程度いる。(①)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「2けたでわるわり算」の学習前に、習熟を図る時間を設ける。</li> <li>・分度器を使う機会を増やし、角度を測る前には、90度、180度、270度より大きい小さいかを予測してから測るようにさせる。</li> </ul>
	② 思考・判断・表現		
	③ 主体的に学習に取り組む態度		
理科	① 知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実験や観察は意欲的に行うが、その結果から考えることが苦手な児童が2割程度いる。(②)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観察や実験から分かったことをノートやワークシートにまとめさせ、気付いたことを全体で共有することで、新たな気付きや深い学びにつなげていく。</li> </ul>
	② 思考・判断・表現		
	③ 主体的に学習に取り組む態度		
音楽	① 知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リズムの理解が十分でない児童が3割程度いる。(①)</li> <li>・曲想を感じ取ることが苦手な児童が2割程度いる。(②)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リズムを手で叩かせたり、言葉で置き換えて伝えたりして理解させる。</li> <li>・音のみの鑑賞ではなく、映像資料を提示したり、教師による範奏を行ったりする。</li> </ul>
	② 思考・判断・表現		
	③ 主体的に学習に取り組む態度		
図画工作	① 知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動に集中できなかつたり、個別の関わりがないと活動を進められなかつたりする児童が1割程度いる。(③)</li> <li>・自分の考えで描いたり表現したりすることに苦手意識を持っている児童が1割程度いる。(②)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体を指導した後に、個別に指導を行い聞き漏らしや進度の遅れがないようにする。</li> <li>・鑑賞の授業などを通して、自他の表現の良さや面白さを伝えていく。躓きやすいポイントで早めに声をかける。</li> </ul>
	② 思考・判断・表現		
	③ 主体的に学習に取り組む態度		
体育	① 知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動の楽しさは感じているが、技能の習得について、ポイントが身に付いていない児童が1割程度いる。(①)</li> <li>・課題解決学習の学び方が身に付いていない児童が2割程度いる。(②)</li> <li>・きまりを守り、友達と仲良く認め合い励まし合いながら安全に気を付けて運動することができない児童が1割程度いる。(③)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・動画教材を視聴させたり、一人1台端末で撮影した映像を活用させたりして、ポイントを示し、技能を習得させる。</li> <li>・ワークシートを活用し、自分の課題に向かって取り組むことができるようにする。また、課題を工夫して解決している児童をほめ、学び方のよさを理解することができるようにする。</li> </ul>
	② 思考・判断・表現		
	③ 主体的に学習に取り組む態度		